



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月28日

上場会社名 エムケー精工株式会社  
 コード番号 5906 URL <https://www.mkseiko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 将一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 酒向 邦明  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月3日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年3月21日～2020年6月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,194	0.3	310	19.3	328	24.8	152	16.7
2020年3月期第1四半期	5,180	9.0	260	16.7	263	19.4	130	29.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 296百万円 (148.2%) 2020年3月期第1四半期 119百万円 (35.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	10.51	
2020年3月期第1四半期	9.03	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	25,530	11,512	45.1	791.77
2020年3月期	24,680	11,332	45.9	779.38

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 11,512百万円 2020年3月期 11,332百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		8.00	8.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の配当予想につきましては未定としておりましたが、本日(2020年7月28日)公表いたしました。詳細につきましては、「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年3月21日～2021年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,500	3.5	400	36.1	400	38.2	200	46.1	13.79
通期	23,000	5.7	600	40.7	600	43.4	350	19.9	24.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の連結業績予想につきましては未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。詳細につきましては、本日(2020年7月28日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	15,595,050 株	2020年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,055,223 株	2020年3月期	1,055,223 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	14,539,827 株	2020年3月期1Q	14,501,145 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、社会経済活動が大幅に抑制され、景況は急速に悪化しました。同様に、世界的な大流行により世界経済においても深刻な影響を及ぼしており、新型コロナウイルス感染症が国内外経済を更に下振れさせるリスクや、金融資本市場の変動の影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する業界におきましても、総じて新型コロナウイルスの影響を受け、外出自粛や移動制限による営業活動の停滞を余儀なくされ、また設備投資に慎重な姿勢が強まるなど、厳しい経営環境で推移しました。

こうした状況のもと当社グループは、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先課題として、社員の感染予防対策や健康保持に努めるとともに、在宅勤務やリモート会議・研修の活用など、事業継続とワークライフバランスの観点から働き方改革に取り組み、必要な対応策を迅速かつ柔軟に講じてまいりました。また、中期経営計画2年目となる今年度は、中期経営計画に掲げた方針に沿って、諸施策を着実に遂行することを基本としつつ、「美・食・住」を軸とした更なる成長ステージへ向けて、モノづくりとサービスの融合による顧客価値を追求し、更に需要の変化を見極めた新商品の開発及びサービスのデザイン並びに新たな事業の創出に、グループ一丸となって取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は51億9千4百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は3億1千万円（前年同期比19.3%増）、経常利益は3億2千8百万円（前年同期比24.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億5千2百万円（前年同期比16.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (モビリティ&amp;サービス事業)

主力の門型洗車機は、新型コロナウイルス感染拡大の中で、SS（サービス・ステーション）向け及びカーディーラー向け洗車機ともに前年からの受注残により、前年度とほぼ同水準で推移しました。一方、オイル機器は、新型コロナウイルスの影響により感染予防のためピット作業が大幅に縮小され、エアコンプレッシャー等の整備機器需要が減少し前年実績を大きく下回りました。情報機器では、一般店舗向け小型表示機は新型コロナウイルスの影響により前年実績を大きく下回ったものの、SS向けの価格看板や工事用保安機器は、期初の受注分が計画どおり売上計上となりました。

その結果、売上高は前年同期比1.8%減の37億1千5百万円となりました。

## (ライフ&amp;サポート事業)

主力製品の農家向け低温貯蔵庫は、新型コロナウイルスの影響による展示会中止もあり、やや伸び悩みました。一方、一般家庭向けの電子レンジ置台やパン焼き機は、インターネット販売を中心に好調に推移し、音響関連も新商品の投入により売上げを伸ばしました。また、食品加工機及び攪拌機は、新型コロナウイルスの影響があったものの、前年並みの売上げを確保しました。

その結果、売上高は前年同期比19.1%増の12億7百万円となりました。

## (住設機器事業)

住設機器としては、主に木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置、鋼製防火扉等を製造・販売しております。コロナ禍は、建設業界にも急速に影響を及ぼし始めております。資材納入業者が物資不足や人手不足などに起因して納期が遅れる事態や、現場の工程が大幅に遅延するなどの影響が出ており、当社も例外ではなく、予定していた工事の納期変更や売上げが下期に延期となる工事も多数発生しました。

その結果、売上高は前年同期比26.5%減の2億3千5百万円となりました。

## (その他の事業)

保険代理業、不動産管理・賃貸業及び長野リンドンプラザホテルの運営に係るホテル業が主体となります。ホテル業は、新型コロナウイルスに対する政府の緊急事態宣言の発令を受け、感染防止策を徹底し、営業を継続してまいりましたが、大都市圏からのビジネス客の減少、各種イベントの中止による予約取消の多発など厳しい経営環境が続いております。

その結果、売上高は前年同期比43.7%減の3千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億4千9百万円増加し255億3千万円となりました。流動資産は7億7百万円増の142億2千1百万円、固定資産は1億4千2百万円増の113億9百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴いたな卸資産が9億2千5百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ6億6千9百万円増加し140億1千8百万円となりました。流動負債は5億3千8百万円増の111億7千8百万円、固定負債は1億3千1百万円増の28億4千万円となりました。これは主に短期借入金が18億2千5百万円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が9億1百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ1億8千万円増加し、115億1千2百万円となりました。これは主に利益剰余金が3千6百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が1億5千6百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響について合理的な算定が困難であるため、2020年4月27日に未定として公表しておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。

詳細につきましては本日(2020年7月28日)公表しました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,068,969	3,152,427
受取手形及び売掛金	5,041,525	4,769,107
商品及び製品	2,138,627	2,395,341
仕掛品	1,293,279	1,674,553
原材料及び貯蔵品	1,624,421	1,911,656
その他	365,651	332,539
貸倒引当金	△18,646	△14,308
流動資産合計	13,513,828	14,221,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,314,344	2,264,429
機械装置及び運搬具(純額)	420,909	406,340
土地	3,523,229	3,523,229
その他(純額)	614,164	601,431
有形固定資産合計	6,872,647	6,795,429
無形固定資産		
のれん	1,173,898	1,099,817
その他	963,692	981,879
無形固定資産合計	2,137,591	2,081,696
投資その他の資産	2,156,790	2,432,051
固定資産合計	11,167,029	11,309,178
資産合計	24,680,857	25,530,495

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,101,995	1,435,009
短期借入金	3,055,000	4,880,000
1年内返済予定の長期借入金	1,526,736	625,176
未払金	3,814,651	3,553,797
未払法人税等	304,702	84,354
引当金	512,868	271,608
その他	324,260	328,310
流動負債合計	10,640,213	11,178,256
固定負債		
長期借入金	1,908,524	1,911,090
退職給付に係る負債	170,076	171,641
その他	629,932	757,277
固定負債合計	2,708,533	2,840,009
負債合計	13,348,746	14,018,266
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,947,095	2,947,095
利益剰余金	5,343,891	5,380,369
自己株式	△492,406	△492,406
株主資本合計	11,172,132	11,208,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,843	308,647
繰延ヘッジ損益	2,946	320
為替換算調整勘定	1,443	△10,002
退職給付に係る調整累計額	3,744	4,652
その他の包括利益累計額合計	159,977	303,618
純資産合計	11,332,110	11,512,228
負債純資産合計	24,680,857	25,530,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)
売上高	5,180,549	5,194,257
売上原価	3,297,694	3,336,887
売上総利益	1,882,854	1,857,369
販売費及び一般管理費	1,622,606	1,546,917
営業利益	260,248	310,451
営業外収益		
受取配当金	6,678	5,725
その他	17,275	34,528
営業外収益合計	23,953	40,253
営業外費用		
支払利息	15,112	14,274
その他	5,473	7,538
営業外費用合計	20,585	21,813
経常利益	263,616	328,892
特別利益		
投資有価証券売却益	6,081	—
特別利益合計	6,081	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	85
投資有価証券評価損	—	6,329
ゴルフ会員権評価損	540	—
貸倒引当金繰入額	2,230	18,040
特別損失合計	2,770	24,454
税金等調整前四半期純利益	266,928	304,437
法人税、住民税及び事業税	60,082	94,334
法人税等調整額	75,868	57,306
法人税等合計	135,951	151,640
四半期純利益	130,977	152,796
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,977	152,796



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)
四半期純利益	130,977	152,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,600	156,804
繰延ヘッジ損益	△5,916	△2,625
為替換算調整勘定	5,269	△11,446
退職給付に係る調整額	△7,272	907
その他の包括利益合計	△11,520	143,640
四半期包括利益	119,456	296,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,456	296,436

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年3月21日至2019年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,782,410	1,014,407	320,054	63,676	5,180,549	—	5,180,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	527	135,161	—	36,566	172,255	△172,255	—
計	3,782,937	1,149,569	320,054	100,243	5,352,805	△172,255	5,180,549
セグメント利益又は損失 (△)	648,895	1,103	△59,076	26,890	617,812	△357,564	260,248

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△357,564千円には、セグメント間取引消去4,352千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△361,916千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年3月21日至2020年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,715,255	1,207,953	235,196	35,851	5,194,257	—	5,194,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	739	141,224	69	37,583	179,616	△179,616	—
計	3,715,994	1,349,177	235,266	73,434	5,373,873	△179,616	5,194,257
セグメント利益又は損失 (△)	653,400	21,796	△57,855	970	618,312	△307,860	310,451

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△307,860千円には、セグメント間取引消去6,579千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△314,440千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。